

## 資料3-2 調査結果に基づく論点の整理(評価ポイント)と、課題の構造

分野	論点(※詳細は、P145~P168参照)	課題の構造(P116~P117)
1 学校教育	1 子供の教育理念に対する評価が、近藤地区で高く、南西地区では低く、顕著な差がある	→ 派生課題①
	2 国際化・情報化教育が進展し、全町的に評価が高い	
	3 学校教育における教育機関間の連携に対する評価が、南西地区で顕著に低下している	
2 社会教育	4 各地域において、青少年の健全な成長の評価が向上している	
3 歴史文化	5 川北地区の高い評価の背景は、有島記念館の展示企画への関心が町内外に広がっているからか？	→ 派生課題②
	6 文化活動施設の地域間格差が拡大し、南西地区の評価低下は施設への交通の便の悪さからか	
4 環境	7 公共下水道や合併処理浄化槽の普及拡大に関する全町的な評価の高まりと、南西地区での評価の低下現象	
	8 河川環境、緑環境、土地利用に対する評価は全町的に高まっている	
	9 準都市計画区域のエリアについての危機感は強い	
5 エネルギー	10 二酸化炭素削減の取組に対して、全町的に危機感が高まっている	
6 住宅・住宅地	11 南西地区で居住環境について全般に評価が低いのは、何故か？	→ 派生課題③
	12 生活道路の除排雪における地域間格差は拡大したのか、縮小したのか？	
	13 住宅や住宅地全体についての評価が、全町的に低下している	
7 交通網	14 交通網の評価は、地域間格差が顕著に見られる(デマンドバスに対する評価が南西地区で大きく低下)	主要課題②
	15 交通網全体については、川北地区の評価低下も顕著	
8 防災・防犯	※ 南西地区の評価が、他地区より低いのは、高齢化や公共交通機関などの点で不安要因が多いからか	→ 派生課題④
9 医療・健康	16 健康づくりの仕組みについて地区によって評価傾向が異なるのは、交通や情報のアクセスによるものか	
10 高齢者福祉	17 川北地区においては、高齢者福祉の評価の低下が著しい	→ 派生課題⑤
	18 川北地区に次いで、南西地区や近藤地区においても、高齢者福祉の評価の低下傾向が強い	
11 子育て支援	19 川北地区における評価の低下が顕著だが、子育て支援制度が農業や観光の世帯とミスマッチなのでは	
12 障がい者福祉		
13 観光	20 他産業と連携する観光についての評価が、全町的に高まっている	
	21 観光客に対する住民のおもてなしと大規模リゾート観光開発に関する評価が、全町的に高まっている	
14 農業	22 農地の保全状態についての町民の不安は外資による購入への不安と思われるが、概ね和らいできている	
15 林業		
16 商工業	23 商工業に対する評価の地域偏在(南西地区や近藤地区での低下が顕著)	→ 派生課題⑥
17 情報共有	24 情報共有の評価が、地域により偏りが見られる(南西地区での低下が大きい)	主要課題①
18 住民参加	25 住民参加に関する評価の地域格差(南西地区、川北地区で大きく低下)	→ 派生課題⑦
19 行財政	26 行財政に関する評価の全町的な低下	→ 派生課題⑧
20 連携	27 連携を重視する傾向が、市街地を中心に全町的な傾向となった	
21 基本条例	28 まちづくり基本条例の運用について、南西地区で評価が低下している	→ 派生課題⑨